

あずさやまのうち・みず・かんきょうほぜんこうじょうきょうぎかい

梓山農地・水・環境保全向上協議会（川上村）

| | | | | |
|-----------------------|--------|--------|-----------|--------|
| ・組織の活動面積 A= 135.26 ha | 組織形態 | 共同活動 ■ | 中山間直接支払 □ | 向上活動 □ |
| ・組織の構成員数 約 190 人 | 取組開始年度 | 平成19年～ | — | — |

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 構成員 | 農家、林野保護組合、婦人会、老人会、青年会、老人会、公民館、畑地管理組合 |
|-----|--------------------------------------|

当集落は、千曲川最上流に位置し、レタス等高原野菜の生産が盛んな地域です。当組織は、林野保護組合役員を中心として、畑地管理組合（パイプラインの機能保持）、婦人会・若妻会（主に農村環境保護活動）、青年会（農道の草刈り等）等からなる組織です。

主産業が農業である為、鳥獣害防護柵及びパイプラインの整備にはその機能を十分なものとする為、特に力を入れて活動しています。その他、定期的な植樹及び花壇の整備等、景観形成にも努力しています。

源流の里を美しい農村環境とともに

近年、鹿による農作物への食害が増加している為、鳥獣害防護柵の整備には特に力を入れています。

電気牧柵から鉄柵への更新により被害をかなり抑えることが出来ていますが、これを永続的なものとするため下草狩りや破損箇所の修繕等共同作業を行い、機能の維持に努めています。

また、農繁期中のメンテナンスについては、林野保護組合役員がこれを行います。



農村環境保護活動の一環として、小学校PTAにも協力を依頼し、小学生、婦人会及び若妻会と連携として毎年1回植栽及び花壇の整備を行っています。

本年度は、プランター（サルビア）の設置、芝桜の定植、2ヶ所の花壇の整備を行いました。

その他、農道沿いに畑を持つ方にも協力していただき、道沿いの部分に花を植えて景観形成の一助としています。

台風や大雨などの災害に備えて農道の排水機能を十分な物とする為、毎年5月頃に側溝の泥上げを行っています。

作業は共同作業にて行いますが、半日での作業となる為、時間内に出来なかった箇所については林野保護組合役員がこれを補完します。

